

Ota ● Japan

ゼロボリュームバルブ

内容積を極限まで小さくすることで、流体の置換特性を高め、ガス供給をより厳密に行うことができます。キッツエスシーティー 新田SC工場(群馬県太田市)で製造しています。高い技術力が必要とされる半導体の製造工程などで使用されており、昨今、ノーベル物理学賞受賞で話題となった高輝度青色LEDの製造工程にも採用されています。

**株主の皆様へ**

To Our Shareholders

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当中間期におけるわが国経済は、公共投資などの経済対策により企業収益や雇用環境に改善が見られましたが、消費増税前の駆け込み需要の反動や夏場の天候不順による内需減少などにより、期初に期待された程の回復にはいたりませんでした。

海外経済におきましては、米国経済是好調な個人消費を背景に総じて堅調に推移する一方で、欧州経済は低成長が継続し、中国・新興国経済においても成長鈍化の懸念が続くなど、依然として先行き不透明な状況が続きました。

このような状況の中、主力のバルブ事業において、国内市場向けで、消費増税前の駆け込み需要の反動の影響はありましたが、前期に実施した一部製品価格値上げの効果もあり増収となりました。一方で、海外市場向けが減収となった他、伸銅品事業も需要の減少に伴い販売量が減少したことにより減収となりましたが、連結売上高は前年同期比0.3%増の575億30百万円と増収を確保しました。

損益面では、連結営業利益は、バルブ事業の国内市場向けの収益が改善したことにより、前年同期比45.6%増の35億90百万円、連結経常利益は、同51.6%増の36億40百万円、連結当期純利益につきましては、同69.0%増の24億58百万円となりました。

当中間期の配当金は、1株につき6円とさせていただきます。また、配当金に加え、株主様への利益還元として、今下期に100万株または5億円を上限として、自己株式を取得することといたしました。

今後も先行き不透明な状況が続くことが予想されますが、グループ一丸となって収益の確保に努めてまいります。

株主の皆様には、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

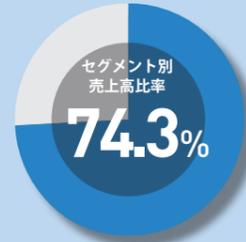
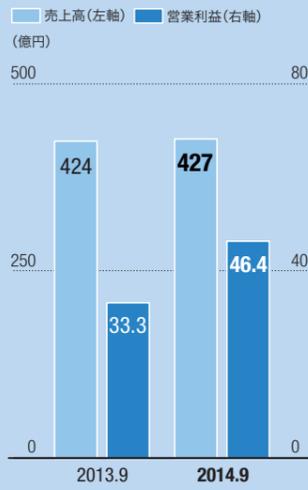
2014年12月

代表取締役社長
堀田 康之

**KITZ**

当中間期のセグメント別売上高・営業利益

バルブ事業



売上高
0.7%増 ↑

前年同期比0.7%増の427億76百万円。国内市場において消費税増税前の駆け込み需要の反動による販売量の減少はあったものの、前期に実施した一部製品価格改定による販売価格の上昇や、半導体製造設備向けの回復などにより増収。海外市場においてはアジア向け及びヨーロッパ向けが減少する一方で、北米向けが増加。

営業利益
39.5%増 ↑

前年同期比39.5%増の46億47百万円。国内市場における販売価格が上昇したことに加え、海外生産子会社においても順調に推移したことにより増益を達成。

伸銅品事業



その他



売上高
0.5%増 ↑

前年同期比0.5%増の44億80百万円。ホテル事業は減収となったがフィットネス事業において増収。

営業利益
6.9%増 ↑

前年同期比6.9%増の2億87百万円。増収となったことに加えコスト削減に努めたことにより増益を達成。

売上高
1.8%減 ↓

前年同期比1.8%減の102億73百万円。銅価格は比較的安定して推移したが、需要の減少に伴い販売量が減少。

営業利益
50.3%減 ↓

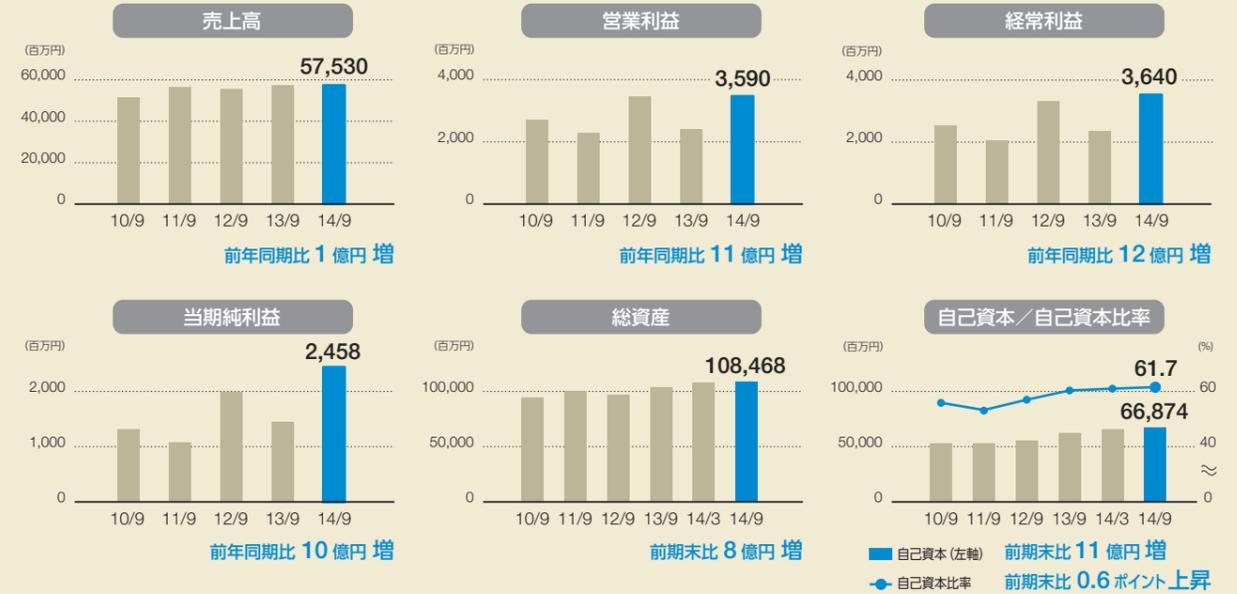
前年同期比50.3%減の1億29百万円。利幅の確保に努めたものの、新規導入した設備の稼働効率の向上に時間を要したことなどにより減益。

当期 (2014年4月～2015年3月) の経営計画

○ 連結 (単位: 百万円)		○ セグメント別 (単位: 百万円)	
		売上高	営業利益
売上高	114,000	87,400	10,050
営業利益	7,500	20,700	400
経常利益	7,400	5,900	250
当期純利益	6,400	—	△ 3,200
		計	114,000
			7,500

※ 上記の経営計画は、2014年10月31日に公表した修正計画です。

主要連結財務指標



連結損益計算書の概要

当中間期 (2014年4月1日～2014年9月30日)



Point 1

営業利益 35 億円
 パルブ事業において国内市場向けで販売量の減少はあったものの、販売価格の上昇などにより収益が改善したことから、営業利益は、前年同期比45.6%の増益となりました。

Point 2

総資産 1,084 億円
 売掛債権の減少はありましたが、現預金、投資有価証券の増加などにより、当中間期末の総資産は、前期末に比べ8億円の増加となりました。

Point 3

負債 405 億円
 買掛金の減少や法人税等の納付による未払法人税等の減少などにより、前期末に比べ2億円の減少となりました。

Point 4

純資産 679 億円
 純資産につきましては、配当金の支払や為替換算調整勘定の減少などはありませんでしたが、当期純利益を24億円計上したことなどにより、前期末に比べ11億円の増加となりました。

連結貸借対照表の概要

前期末 (2014年3月31日)		当中間期末 (2014年9月30日)	
資産合計	負債純資産合計	資産合計	負債純資産合計
107,583	107,583	108,468	108,468
現金及び預金 8,807	流動負債 20,703	現金及び預金 12,397	流動負債 19,865
流動資産 55,866	固定負債 20,101	流動資産 56,912	固定負債 40,517
有形固定資産 36,835	株主資本 62,865	有形固定資産 36,548	株主資本 64,568
無形固定資産 3,315	その他の包括利益累計額 2,836	無形固定資産 3,244	その他の包括利益累計額 2,306
投資その他の資産 11,566	少数株主持分 1,075	投資その他の資産 11,763	少数株主持分 1,075
	純資産 66,777		純資産 67,950

※ 本中間報告書中の記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

陸上養殖向け水浄化技術「キッツリサクア」を開発

キ ャッツグループは、飲料水製造装置、プール用浄水装置及び家庭用浄水器などの水浄化に関わる製品を製造・販売していますが、このたび新たに、魚介類の陸上養殖向けの水浄化技術「キッツリサクア(KITZ RECIRQUA) *1」を開発、実証試験に成功しました。

「キッツリサクア」は、有機化学反応の一種であるラジカル反応*2を用いて、魚介類から排泄される有害なアンモニアを複数の分子と連鎖的に化学反応(促進酸化反応)させることで、アンモニアを瞬時に窒素ガス化するとともに、殺菌・脱色及び消臭を行う革新的な技術です。現在行われているバクテリアによる分解方法に比べて、安定的かつ効率的にアンモニアを分解することができ、また、装置の小型化やメンテナンス性の飛躍的な向上、さらに高密度かつ無投薬での養殖に道を拓く技術として、業界からも高い期待が寄せられています。

今後、養殖業界に貢献できるよう新技術の実用化及び新事業の早期の確立を目指してまいります。

*1 KITZ RECIRQUA : 「Recirculate : 再循環する」と「Aqua : 水」を組み合わせた造語。水の循環浄化をイメージしている。

*2 ラジカル反応 : 有機化学反応のうち、反応過程においてラジカル(遊離基) が関与する反応のこと。



実証試験の様子

キッツマイクロフィルター 第2工場の稼働を開始

グ ループ会社のキッツマイクロフィルターが、2014年9月より第2工場の稼働を開始しました。同社は、独自に開発した中空糸膜と、樹脂加工技術をベースにして、家庭用・業務用浄水器の他、エレクトロニクス、分析機器、医療及び食品などの分野に向けた工業用精密フィルターを製造・販売しています。

業容の拡大に伴い、諏訪市の本社工場は手狭となっており、これ以上の設備の増強が難しい状況でした。そこで、同じ市内に清浄環境を整えた第2工場を開設し、浄水器と一般工業用商品の組立ラインを移設しました。本社工場の空いたスペースには、クリーンルームを増床し、さらなる増産体制を整えるとともに、引き続き、お客様に安全にお使いいただける商品を提供してまいります。



第2工場外観



組立ライン

茅野工場が長野県警の緊急用ヘリポート受け入れ

茅野工場の敷地の一部を長野県警察の緊急用ヘリポートとして提供することを決定しました。山岳での遭難事故の際、遭難者を病院に搬送するための中継地となります。

茅野工場の敷地内に広いスペースがあり、エンジン出力の大きい新型県警ヘリの離発着が可能であること、周囲に電線や住宅街がないことなどから茅野警察署より要請があり、協力させていただくことといたしました。

2014年7月、県警ヘリによる離発着訓練が、工場内の緊急用ヘリポートで実施されました。茅野署員と諏訪地区山岳遭難防止対策協会救助隊員が参加し、着陸したヘリから人が降ろし、担架で救急車に運び込むまでの手順を確認しました。



茅野工場敷地内での県警ヘリによる離発着訓練

ビル空調設備用制御弁 環境・設備デザイン賞 優秀賞を受賞

一般社団法人建築設備総合協会が主催する第12回環境・設備デザイン賞第1部門において、キッツの「低Cv値ファンコイルフローティング制御弁」が優秀賞を受賞しました。

環境・設備デザイン賞は、従来、建築設備分野ではあまり意識されることのなかった審美性などの「感性」に関する要素に焦点を当て、これに「機能性」、「経済性」や環境問題も視野に入れた「社会性」を加えた4つの評価軸により、優秀なデザインに対して贈られます。

本製品は、主にビル空調設備に使用されます。流量制御の効率化のため、ボール形状の弁体に特殊なV型のスリットを開け、流体シミュレーションによる工学的なアプローチから低騒音化を導き出しています。

現在、ビル空調設備の中核を成す温度制御システムには、室内環境の質の向上と省エネルギーをより推進させることが求められています。その中で本製品は、汎用性のファンコイルユニットにおいて、さらなる省エネルギー推進の観点から、近年、施工事例が増えている「大温度差制御*」に対する「少流量制御」及び制御時の「低騒音」を実現しています。

*大温度差制御：ファンコイルにおける熱交換率の改善により、温度差を拡大することで空調媒体となる冷水・温水の量を半分にし、搬送動力を低減させることで省エネルギーに貢献すること。



受賞製品のパネルと優秀賞の盾



低Cv値ファンコイルフローティング制御弁

キッツウェルネスの株式を譲渡

キ ャッツウェルネスの発行済み株式の全部を、2014年10月1日をもってダンロップスポーツに譲渡しました。

キッツウェルネスは、キッツの100%子会社として1990年に設立され、首都圏を中心に、総合フィットネスクラブの他、通所介護施設など計22店舗を運営してまいりました。一方、ダンロップスポーツは、スポーツ用品事業、ゴルフトーナメント運営事業、ゴルフ場事業及びスクール事業を広く展開しています。

キッツウェルネスが同社と一緒に事業を行うことにより、高い相乗効果の創造が見込まれるとともに、キッツグループにとっても、主力であるバルブ事業へのさらなる特化と経営資源の再配分により、長期経営計画「KITZ Global Vision 2020」に掲げた「企業価値の最大化」の実現につながることが期待されます。

2014年3月31日現在で、当社株式を1,000株以上ご所有の株主様にお送りしている「株主様ご優待案内」冊子中のフィットネスクラブ施設体験・各種割引券等の優待は、有効期限内はご使用いただけます。なお、本件株式譲渡にともない、次回より、フィットネスクラブ関連の優待はなくなることとなりますのでご了承ください。

海外生産拠点

- KITZ (Thailand) Ltd. / タイ(サムットプラカーン)
- 台湾北澤股份有限公司 / 台湾(高雄市)
- 北澤精密機械(昆山)有限公司 / 中国(江蘇省)
- 北澤閥門(昆山)有限公司 / 中国(江蘇省)
- 連雲港北澤精密閥門有限公司 / 中国(江蘇省)
- 北澤半導体閥門(昆山)有限公司 / 中国(江蘇省)
- KITZ Corporation of Europe, S.A. / スペイン(バルセロナ)
- Perrin GmbH / ドイツ(ヘッセン州)

海外販売拠点

- 上海開源国際貿易有限公司 / 中国(上海市)
- KITZ Corporation of Asia Pacific Pte. Ltd. / シンガポール
- KITZ Valve & Actuation Singapore Pte. Ltd. / シンガポール
- KITZ Corporation of America / アメリカ(テキサス州)
- KITZ SCT America Corporation / アメリカ(カリフォルニア州)
- KITZ Europe GmbH / ドイツ(ヘッセン州)

国内グループ会社

- 東洋バルブ株式会社
- 株式会社清水合金製作所
- 株式会社キッツエスシーティー
- 三吉バルブ株式会社
- ワイケイブイ株式会社
- 株式会社キッツエンジニアリングサービス
- 株式会社キッツマイクロフィルター
- 株式会社キッツメタルワークス
- 株式会社ホテル紅や
- 株式会社キッツジーンアンドアイ

駐在員事務所

- KITZ Corporation (Korea Liaison Office) / 韓国(ソウル市)
- KITZ Corporation (India Liaison Office) / インド(ムンバイ市)
- KITZ Corporation (Dubai Branch) / U.A.E.(ドバイ酋長国)

株式の状況

○ 発行可能株式総数 400,000,000 株

○ 発行済株式の総数 109,218,012 株

(注) 上記の株式の総数には、当社が当中間期末に保有する自己株式 11,178,499 株を含んでおりません。

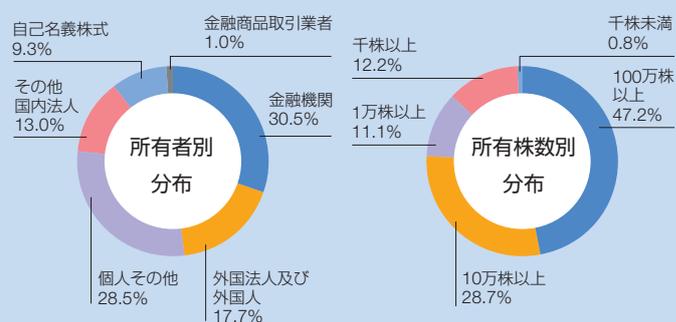
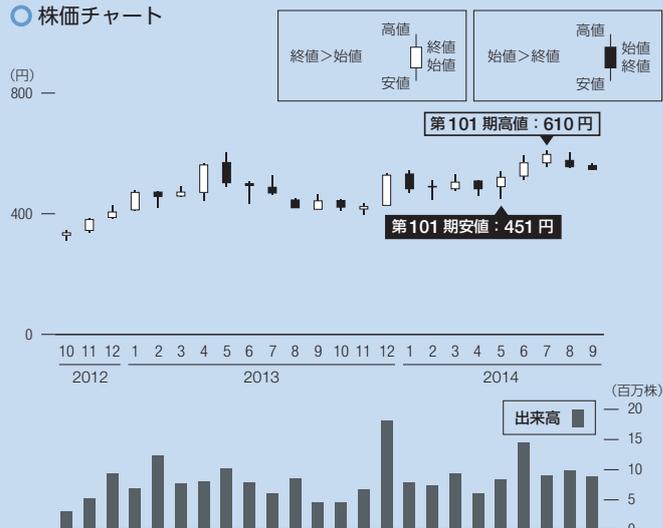
○ 株主数 10,847 名

○ 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	9,145	8.37
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	4,387	4.02
日本生命保険相互会社	4,368	4.00
北沢会持株会	3,722	3.41
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オムニバス アカウント	3,637	3.33
公益財団法人北澤育英会	3,411	3.12
住友生命保険相互会社	2,939	2.69
キット取引先持株会	2,905	2.66
株式会社みずほ銀行	2,553	2.34
株式会社三井住友銀行	2,553	2.34

- (注) 1. 当社は、2014年9月30日現在、自己株式 11,178 千株を保有しており、上記大株主から除外しております。
 2. 上記の持株数には、信託業務に係る株式を次の通り含んでおります。
 日本トラスティ・サービス信託銀行(株) 9,145 千株
 日本マスタートラスト信託銀行(株) 4,387 千株
 3. 日本生命保険(相)の持株数には、特別勘定年金口 64 千株を含んでおります。
 4. 住友生命保険(相)の持株数には、変額口 111 千株及び特別勘定口 67 千株を含んでおります。
 5. 持株比率は、発行済株式総数から自己株式 11,178,499 株を除いて計算しております。

○ 株価チャート



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会議決権 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 そのほか必要ある場合は、あらかじめ公告いたします。
公告掲載方法	電子公告 ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 公告掲載 URL (http://www.kitz.co.jp/)
単元株式数	100 株
株主名簿管理人	
特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
 電話 0120-232-711(通話料無料)

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてお取り扱いさせていただきます。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

会社概要 (2014年9月30日現在)

商号	株式会社キッツ
本社	千葉県千葉市美浜区中瀬一丁目10番1 TEL (043) 299-0111 (大代表)
代表取締役社長	堀田 康之
資本金	21,207,084,670円
設立年月日	1951年1月26日
従業員数(単体)	1,237名
従業員数(連結)	3,976名
工場	長坂工場(山梨県)/伊那工場(長野県)/ 茅野工場(長野県)
営業網	札幌/仙台/さいたま/千葉/横浜/茅野/新潟/ 富山/静岡/名古屋/大阪/岡山/広島/福岡

表紙の解説

株式会社キッツエスシーティー

キッツエスシーティーは、2001年にキッツグループに加わり、半導体製造設備用の高純度流体用バルブ、継手及びユニットの製造・販売を行っています。「Super Clean Technology」の頭文字から付けられたその名のとおり、クリーンルームを備えた工場で超精密洗浄システム及び超精密研磨技術などにより高品質な製品を製造。供給系から排気系まで幅広いラインナップを提供しています。また、現在、キッツグループを挙げて取り組んでいる水素ステーション用バルブの製造も担っています。

